

1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者及び教科書の番号

ビジネス・コミュニケーション		冊数	2冊
発行者の略称・教科書の番号	実教 007-902 東法 190-902		

2 学習指導要領における教科・科目の目標等

【商業の目標】

商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ビジネスを通じ、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 商業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- (2) ビジネスに関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- (3) 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

【ビジネス・コミュニケーションの目標】

商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ビジネスにおけるコミュニケーションに必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) ビジネスにおけるコミュニケーションについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- (2) ビジネスにおけるコミュニケーションに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。
- (3) ビジネスを円滑に展開する力の向上を目指して自ら学び、ビジネスにおいてコミュニケーションを図ることに主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

【ビジネス・コミュニケーションの内容及び内容の取扱い】

「内容」の概要	「内容の取扱い」抜粋
(1) ビジネスとコミュニケーション ア 意思決定と組織の構成者としての行動 イ 人的ネットワークの構築 (2) ビジネスマナー ア 応対に関するビジネスマナー イ 交際に関するビジネスマナー ウ 接客に関するビジネスマナー (3) ビジネスにおける思考の方法とコミュニケーション ア 言語コミュニケーションと非言語コミュニケーション イ ビジネスにおける思考の方法 ウ ビジネスにおけるコミュニケーション (4) ビジネスと外国語 ア 企業活動のグローバル化 イ 文化と商慣習 ウ ビジネスの会話 エ ビジネスの文書と電子メール オ ビジネスにおけるプレゼンテーション	(1) 内容の範囲や程度については、次の事項に配慮するものとする。 ア (1)のアについては、組織の階層化、意思決定の流れと方法、良好な信頼関係を構築し協働することの意義などについて扱うこと。 イ (2)のアについては、挨拶、言葉遣い、表情などについて扱うこと。イについては、慶事、弔事などについて扱うこと。ウについては、販売活動における接客の心構えと方法及びホスピタリティの概念と重要性について扱うこと。 ウ (3)のイについては、ビジネスの場面において活用できる論理的、批判的に捉えたり、分析したりする方法について扱うこと。ウについては、ビジネスの場面において相手の考えを迅速に理解して思考し伝える工夫、伝え方と聞き方の工夫及びアイデアを創出する方法についても扱うこと。 エ (4)のイについては、ビジネスを展開する上で踏まえる必要がある外国の文化と商慣習について扱うこと。また、ビジネスにおいて、意見や主張を伝えること、議論することなどに関する考え方や方法の違いについても扱うこと。

3 教科書の調査研究

(1) 内容

ア 調査研究の総括表

調 査 項 目		対象の根拠（目標等との関連）
a	単元など内容や時間のまとまりを見通して、 その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	学習指導要領 第3章 第3節 第3款1(1)
b	ビジネスに関わる内容	学習指導要領 第3章 第3節 第1款
	その他の項目（各教科共通）	学習指導要領総則、東京都教育委員会の基本方針、 東京都教育ビジョン

イ 調査項目の具体的な内容

① 調査項目の具体的な内容の対象とした事項

調査研究事項の a、b 及びその他の項目との関連で、次の事項について具体的に調査研究する。

- a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成(各教科共通)
- ・ 調査研究事項の a、b 及びその他の項目との関連で、次の事項について具体的に調査研究する。
- b ビジネスに関わる内容
- ・ 各単元において、ビジネスに関わる内容を見取る。

《その他の項目》（各教科共通）

- ・ 我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫
- ・ 人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫
- ・ 安全・防災や自然災害の扱い
- ・ オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫
- ・ 固定的な性別役割分担意識に関する記述等

② 調査対象事項を設定した理由等

- a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成(各教科共通)
- ・ 学習指導要領の中に、「単元など内容や時間のまとまりを通して、その中で育む資質・能力の育成について」言及されているため、各単元における資質・能力をどのように育成できるかという視点で質的に調査する。
- b ビジネスに関わる内容
- ・ 学習指導要領では、ビジネスに関する課題について、協働して分析、考察、討論を行い、解決策を考案し地域や産業界等に提案するなど言語活動の充実を図ることが求められているため、ビジネスに関わる項目・題材について調査する。

《その他の項目》（各教科共通）

- ・ 我が国の領域をめぐる問題及び国旗・国歌の取り扱いについては、学習指導要領総則に基づき、これらの問題を正しく理解できるようにするため、その扱いについて調査する。
- ・ 北朝鮮による拉致問題については、東京都教育委員会の基本方針1に基づき、人権尊重の理念を正しく理解できるようにするため、その扱いについて調査する。
- ・ 東京都では、自然災害時における被害を最小化し、首都機能の迅速な復旧を図る総合的なリスクマネジメント方策の確立が喫緊の課題であり、防災教育の普及等により地域の防災力の向上が重要であることから、防災や自然災害の扱いについて調査する。
- ・ 東京都教育委員会の基本方針2・3に基づき、文化・スポーツに親しみ、国際社会に貢献できる日本人を育成するという観点から、オリンピック・パラリンピックの扱いについて調査する。
- ・ 東京都教育委員会の基本方針1及び東京都の男女平等参画推進の施策を踏まえ、固定的な性別役割分担意識の解消や、「無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)」に気付いて言動等を見直していくなど、男女の平等を重んずる態度を養うことができるよう、その扱いについて調査する。

(2) 構成上の工夫(各教科共通)

- ・ デジタルコンテンツの扱い
- ・ ユニバーサルデザインの視点

教科名	商業
科目名	ビジネス・コミュニケーション

発行者（略称）	実数
教科書番号	商業007-902◆
教科書名	ビジネス・コミュニケーション 新訂版
(1) 内容	
a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	
【ビジネスとコミュニケーション】	「ビジネスとコミュニケーション」について、コミュニケーション能力や情報の正確な受発信能力を高めることで、思考力と表現力の育成が図られるよう工夫されている。ロールプレイやグループワークが設けられており、実践的な力が身に付くよう構成されている。
【ビジネスマナー】	「ビジネスマナー」について、社会人基礎力のひとつである「前に踏み出す力」や「チームで働く力」を育成する内容が取り上げられており、知識を実践に移す態度が身に付くよう工夫されている。マナーの習得を通じて、相手を思いやる気持ちや社会的責任感の育成が促されている。
【ビジネスにおける思考の方法とコミュニケーション】	「ビジネスにおける思考の方法とコミュニケーション」について、論理的思考・問題解決力・分析力など、考える力を育成できるよう演習問題が設けられている。課題に対して多角的に捉え、他者と議論しながら結論を導くような構成になっている。
【ビジネスと外国語】	「ビジネスと外国語」について、言語運用能力とともに、異文化理解や国際的視野を育むことがねらいとなっており、英語の実践的な運用だけでなく、他文化と円滑に協働できる態度を育成する活動が組み込まれている。
b ビジネスに関わる内容	
【ビジネスとコミュニケーション】	「ビジネスとコミュニケーション」について、顧客対応やトラブル対応、社内調整などのビジネス課題が事例として取り上げられており、現場で求められる対応力を考えさせる構成になっている。例えば、クレーム対応やSNSの発信に関するトピックが設けられている。
【ビジネスマナー】	「ビジネスマナー」について、就職活動や企業訪問、インターンシップなどの場面を想定した課題が盛り込まれており、ビジネスマナーの重要性と現実的な活用方法を結びつけて考えさせるよう工夫されている。職場で信頼を築く上での基礎・基本が身に付くような構成になっている。
【ビジネスにおける思考の方法とコミュニケーション】	「ビジネスにおける思考の方法とコミュニケーション」について、企業的意思決定、マーケティング、組織運営などの場面で発生する課題を題材にし、グループで議論しながら解決策を導き出す活動が取り上げられている。ビジネスにおける論理性と協働性のバランスを理解させる構成になっている。
【ビジネスと外国語】	「ビジネスと外国語」について、外国人観光客への対応や貿易業務、国際会議などを題材とした課題を扱っており、国際社会でのビジネス展開を意識した学習が可能となっている。実際のメール作成や会話練習が盛り込まれ、リアルな場面に対応する力を養えるようになっている。
《その他の項目》（各教科共通）	
我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	習慣の違いや宗教別の食事に関する注意点に触れている。
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	記載なし
安全・防災や自然災害の扱い	記載なし
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	記載なし
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	記載なし
(2) 構成上の工夫	
デジタルコンテンツの扱い	デジタルコンテンツを活用して効果的に学習できるよう二次元コードを掲載している。
ユニバーサルデザインの視点	カラーユニバーサルデザインに配慮されている。ユニバーサルデザインフォントが採用されている。

教科名	商業
科目名	ビジネス・コミュニケーション

発行者（略称）	東法
教科書番号	商業190-902◆
教科書名	ビジネス・コミュニケーション 新訂版
(1) 内容	
a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	
【ビジネスとコミュニケーション】	「ビジネスとコミュニケーション」について、社会人として必要な報告・連絡・相談（ホウ・レン・ソウ）や、円滑な人間関係を築くための傾聴・発信のスキルなど、基礎的な対人スキルの育成が重視されており、実践的な場面を想定した会話例や練習問題が設けられている。
【ビジネスマナー】	「ビジネスマナー」について、あいさつや言葉づかい、身だしなみ、訪問・接客マナー、電話応対など、企業が求める基本的なマナーを習得することを目的に、場面別にマナーの要点を整理して解説する構成になっている。
【ビジネスにおける思考の方法とコミュニケーション】	「ビジネスにおける思考の方法とコミュニケーション」について、問題解決や論理的思考、資料の読み取りと表現、プレゼンテーション技法などが扱われており、自ら考え行動する力を養うことができるように工夫されている。
【ビジネスと外国語】	「ビジネスと外国語」について、グローバル社会に対応する力を養うため、外国語（主に英語）による基本的な挨拶・自己紹介・電話応対・メール作成などが紹介されており、異文化理解と対応力を高めるように工夫されている。
b ビジネスに関わる内容	
【ビジネスとコミュニケーション】	「ビジネスとコミュニケーション」について、職場内外でのコミュニケーションの課題に対応できるように、グループワークやロールプレイを通じた活動が組み込まれており、生徒が主体的に考え学べるように工夫されている。
【ビジネスマナー】	「ビジネスマナー」について、社会人としての信頼性や企業イメージを高めることに資する内容が盛り込まれており、実際の業務で直面するシーンを取り上げている。
【ビジネスにおける思考の方法とコミュニケーション】	「ビジネスにおける思考の方法とコミュニケーション」について、実務的な課題に対して、チームでの意見交換や解決策の検討を行う活動が多く含まれており、職場での課題解決能力を高める構成になっている。
【ビジネスと外国語】	「ビジネスと外国語」について、外国人とのやりとりを想定した会話例や演習が取り入れられており、実際のビジネスシーンを想定した構成が設けられている。
《その他の項目》（各教科共通）	
我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	異国との食事のマナーの違いについて記載されている。
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	記載なし
安全・防災や自然災害の扱い	記載なし
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	記載なし
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	記載なし
(2) 構成上の工夫	
デジタルコンテンツの扱い	デジタルコンテンツを活用して効果的に学習できるよう二次元コードを掲載している。
ユニバーサルデザインの視点	カラーバリアフリーを含むユニバーサルデザインに配慮されている。